

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013  
箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）

## ◆ 目次 ◆

- 高校生カンボジアスタディーツアー
- 世界寺子屋運動箕面ユネスコ版8
- とどろみの森学園5年生とともに
- お知らせ



♪ホームページ折々に更新中!

「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## 第3回高校生カンボジアスタディーツアー

8月2日（木）から12日（金）まで第3回高校生カンボジアスタディーツアーが行われました。参加者は全国から地域ユネスコ協会会長、ユネスコスクールの校長推薦を受けた応募者から選ばれた10名の高校生。団長として坂ロー美（日本ユネスコ協会連盟理事）が同行しました。



ツアーでは、現地に暮らす人びととの交流を通じて、カンボジアの歴史、文化、社会への理解を深めつつ「世界寺子屋運動」「世界遺産活動」のプロジェクト地を訪問し、カンボジアが抱える課題と解決への取り組みを知り、帰国後に自分にできることを考えます。事前学習ではテーマ別に現地の訪問先に関連して調べ学習を行い、それぞれが発表をしました。

カンボジアのプノンペン、コンポントム、シェムリアップ3都市を訪問し、現地の遺跡や博物館への訪問や寺子屋の視察と生徒との交流を通じ、文化や歴史、教育について学ぶことができました。





## 日本大使館・UNESCO プノンペン事務所・国立博物館・ツールスレン

在カンボジア日本国大使館に隈丸優次全権特命大使を表敬訪問し、カンボジアの歴史、政治、経済や日本のカンボジアへの支援についてお聞きしました。UNESCO プノンペン事務所においてカンボジアの教育について、国立博物館およびツールスレン博物館を訪問し、歴史について学びました。



### キリングフィールド

プノンペン郊外にあるポルポト時代の処刑場である「キリングフィールド」を訪問し、当時の状況について知ることができました。



### サンボープレイクック遺跡

サンボープレイクック遺跡ではカンボジアの高校生と交流、早稲田大学のチームの発掘作業に参加し、発掘作業を体験しました。



### バイヨン・インフォメーションセンター、バイヨン寺院、アンコールワット

カンボジアの文化遺産について学び、JST 代表のチア・ノル氏から「バイヨン修復プロジェクト」についての詳細を聞くことができ、彫像を洗う、石を削る作業などを体験しました。そして世界遺産！アンコールワットを訪問した。



### カンボジア事務所・リエンダイ CLC・夜間識字クラス

カンボジア事務所で「アンコール寺子屋プロジェクト」の概要を聞き、リエンダイ CLC の復学支援クラスを訪問し、参加者による交流事業（そろばんの実演、折り紙や歌など）を行いました。その後、生徒の家を訪問し、生活の様子を見ることができました。夜はリエンダイの民家で行われる夜間識字クラスも視察しました。（坂口 一美）



## 世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版 ー8ー

### ウランバートル郊外・トルゴイド・第3ホローを訪ねて

8月1日、午後8時、ジンギスハン国際空港に到着。夜9時過ぎまで夕方の明るさ。ホームステイ先のオチルダエルさん家族4人の出迎えを受け、オチルダエル家に到着すると、3年ぶりの再会に、家族総出10人による歓迎パーティが早速始まった。



8月2日、葉刈り剪定バサミの買い出しなど、明日からの子ども会活動参加への準備と、滞在中の生活準備追われた。まずウランバートルへ行き、ツグルグへの両替、生活用品の買い出し、お土産の整理で1日が終わった。

8月3日、子ども会に参加している小学生へおみやげの鉛筆を渡し、子どもたちが着ている服を脱ぎ、一番長くに

伸ばしたグループが勝ちというゲームをしたりして遊んだ。

8月4日、今年の子ども会活動テーマが環境問題なので、私の仕事と住んでいる北芝の環境が悪化した過程を紹介した。午後から子どもたちは活動拠点のある役所周辺のゴミ拾いを始め、嫌がるようすもなく、競うように素手でゴミを拾い続けた。

8月5日、植木の剪定体験を指導した。剪定バサミを見るのも触るのも初めてらしく、最初は慣れない手つきながらも楽しく剪定を始めた。たまたま役所を訪れたウランバードルの植木職人さんもワザを披露してくれた。

午後からは子どもたちが考えている環境問題を画用紙と模造紙に描いた。きれいな川と汚れた川の対比、山、花、空、星など自分が残したいと思う光景をそれぞれが描き、50枚ほどの絵が完成した。

8月6日、子ども会と野菜農場見学に行った。モンゴルは野菜を作ることには気候の上でも難しいので、野菜畑を見るのは初めての子が多かった。農場から帰り、私が外国を訪ねる楽しみにしている、子どもたちの「将来、つきたい仕事」と「夢」のアンケートを書いてもらった。警察官になりたい子をはじめ、多くの子どもたちが、なぜその職業に就きたいのかを記入してくれ、いいアンケートが仕上がった。この日が私の子ども会活動に参加する最終の日だった。



8月7日～9日、モンゴルの養蜂業者を訪問する府立能勢高等学校のハチミツクラブの生徒たちとロシアとの国境近くにキャンプに出かけた。

8月10日、次の日に能勢高生徒たちが子どもと交流する時の光景を想像し、その嬉しさで、寂しくなった後ろ髪を引かされながら日本へ出発した。

(中島 嘉伸)

## 箕面ユネスコ協会の活動経過報告 NO11

### 箕面市立とどろみの森学園5年生のみなさんとともに

～総合学習『震災から学ぶ』～



学園では、熊本地震発生直後に生徒会での募金活動が行われています。2か月が過ぎ、これからの日々の中で、自分たちに何かできることはないか…と考えている5年生の子どもたちと出会いました。

6月30日の授業では、東日本大震災や熊本地震の被害の様子に加えて、「地震発

生のメカニズム」や、ボランティアの方々の活動について伝えました。後半には、「地震が来たらどうするか、家の人と話し合ったことがありますか?」「いざという時のために、家の人と何かの準備をしていますか?」等、子どもたち同士でインタビューし合いました。「地震の恐ろしさが分かった。亡くなっていた人たちのことを知ってつらい」「とどろみでも災害が起こるかもしれない、それに備えて何ができるか考えたい」などの感想が共有されました。







7月6日には、北摂つばさ高校出身の大学生とともに訪れました。坂口会長は、東日本大震災の当事者として、地震直後から今まで、東日本や熊本でボランティア活動を続ける思いを伝えました。また、大学生の高松さんは、子どもたちの質問に答える形で、「ボランティア活動を始めたきっかけ」「東日本や熊本でどんな出会いがあったか」「ボランティアで

の生活」等について語ってくださいました。熊本地震後、被害の大きかった西原村で支援活動の必要な基地となっているたんぽぽハウスの話は、強く子どもたちの心に残ったようです。一人ひとりが書いたお手紙を箕面ユネスコ協会に届けてくれました。8月下旬に現地に入る坂口会長が、たんぽぽハウスさんに手渡す予定です。(大濱 淳子)



～坂口さんと 高松さんへ～  
 ねぎ味噌ラー油、  
 とってもおいしかったです。  
 ビリッと辛くて、とてもご飯に  
 合いました!! ありがとうございます!  
 また、この前の震災の話  
 とっても勉強になりました。  
 震災のこわさや、しんどさ、  
 ひ災地の方の気持ちが  
 よく分かりました。  
 「命を守る」自分で自分を守ること、  
 「震災を忘れない」今でも  
 ひなんしている人たちのことを  
 考える、ということも考えました。  
 これからもボランティア活動がんばってください!!  
 ひ災地のちががいのこともはやく安全な  
 ぐらしが、できることを、いります。

たんぽぽハウスの方々に  
 くま本でじしんが"おき  
 外で生活している人がいて、その  
 人たちのためにひなんじょを作  
 くれたり、そのひなんしている人た  
 ちに、たんぽぽハウスで食事など  
 を作ってあげたりして、たんぽぽ  
 ハウスはとってもいいところな  
 んかなと思いました。  
 あと、きか倉の時に、たんぽぽハ  
 ウスの人が作った、ねぎみそが  
 ビリッからでとてもおいし  
 かったです。

## 箕面ユネスコ協会の活動経過報告 N08

### ～ 東日本大震災の被災地とつながる！高校生による東北ボランティア支援

2016 年度も大阪府立北摂つばさ高校 8 校連合「がんばれ！つばさネットワーク」の宮城県気仙沼市を中心とするボランティア活動の支援をしました。第7回は7月15日～19日、合計48名参加。第8回は7月20日～24日合計83名参加しました。気仙沼の大島へ渡り牡蠣の養殖場でういの殻むきや林道の草刈り、「海べに森をつくろう会」では植樹や昨年植えた木の下草刈りのボランティアを行いました。



#### ★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「ダンス遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>  
 書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています!

